

# さくら通信

## ボディランゲージ

### - 動物の気持ち、気にかけていますか？

皆さんはボディランゲージという言葉を知っていますか？

私たちは言語、言葉を使ってコミュニケーションをとり、今どんな心理状態か、何を考えているか、どうしてほしいか等を伝え合い、知り合うことができます。

しかし、動物たちは言語を使うことが出来ないため、瞳孔(眼)や耳の状態、顔の緊張状態、しっぽの状態 etc... 身体を使って心理状態を伝えています。これをボディランゲージといいます。

ボディランゲージを知っておけば、動物たちとのコミュニケーションが一層深まったり、場合によっては攻撃行動などの防止にもつながるかもしれません。

ボディランゲージの一部を載せたので、おうちのわんちゃん達の心理状態を当てはめてみてください！

(今回は犬のボディランゲージをピックアップしています。他の動物には該当しない場合があります。)



#### リラックスモード

表情は自然で穏やか、  
尾も自然に垂れ、  
四肢に均等に体重がかかっている。

#### 防衛的な(恐怖が強い)攻撃モード

マズルにしわがより、口を後ろに引いて歯を見せる。耳が後ろに垂れ、尾も下がっている。  
全体的に姿勢が低い。  
相手が更に近づいたりすると自分の身を守るために攻撃行動をおこすことがある。見極められると、咬傷事故を防止できるかもしれません。



こちらに載せたのはごく一部です。

わんちゃん達は本当にたくさんの表情を持っています。普段の生活の中で彼らがどんな気持ちで、何を考えているかをより一層気にかけてみると、今まで気付かなかった表情に気付けるかもしれませんね。



#### 威嚇的な攻撃モード

目は相手を凝視し、歯を見せて唸ったり吠えたりする。耳は前方を向き、前傾姿勢で前に体重がかかる。尾は立ち上がって振っている場合もある。



#### ● (好きなものがあり)興奮モード：イラスト

表情は穏やかで、耳が前を向き立っている(垂れ耳の子は垂れたまま上に持ち上がり気味になる)。体重は前肢にかかり、しっぽを素早く振る。

#### ● 遊びに誘うポーズ：写真

身体の前を低くし、口を軽く開いて舌を出していることが多い。尾を振ってテンションが高い子もいる。

発症後の致死率はほぼ100%

## 意外に知らない恐ろしい病気 狂犬病のこと

動物看護師 竹花



今年の5月22日、**14年ぶりに国内で狂犬病の発症が確認された**というニュースはご存じでしょうか。

残念ながら、その方は5月11日に、足首の痛みという症状が出てから約1か月後、6月13日お亡くなりになられたそうです。

この方がフィリピンにて犬に噛まれたのは、去年9月ごろ。

発症まで8カ月もの時間が経っています。

忘れたころにやってくる死の恐怖。

そんな恐ろしい病気、狂犬病についてお話していきます。

### Q.狂犬病にかかる動物は何ですか？

A.ヒトを含むすべての哺乳類です。

### Q.感染経路はどのようなものですか？

A.狂犬病にかかった動物(アジアでは主にイヌ)に**咬まれて、唾液内のウイルスが傷口から体内に入り、感染**します。

### Q.日本での発生はありますか？

A.現在、日本での発生はありません。しかし、日本、英国、オーストラリア、ニュージーランドなどの一部の国々を除いて、全世界に分布します。つまり、**海外ではほとんどの国で感染する可能性のある病気**です。

### Q.狂犬病に感染してから発症するまで、どのくらいの期間がありますか？

A.人の場合狂犬病は感染してから発症するまでの期間(潜伏期)が一般に**1ヶ月から3ヶ月**、長い場合には**感染してから1年から2年後**に発症した事例もあります。なお、発症前に感染の有無を診断することが出来ません。

### Q.どんな症状が出ますか？

A.人の場合、初期は発熱、咬傷部位の痛みや搔痒感などがあります。症状が進むと、**恐水及び恐風症状**、興奮性、麻痺、幻覚などの神経症状が出てきます。最終的に、昏睡状態に陥り、呼吸障害により**ほぼ100%が死亡**してしまいます。犬の場合は、性格の変化と行動の異常、症状が進むと興奮状態(無目的な徘徊、目に入るものを頻繁に咬む)、光や音の突然刺激に対する過敏な反応が出てきます。最終的には歩行不能、嚥下困難、流涎、昏睡状態になり**死亡**してしまいます。

### Q.発症したら治療法はありますか？

A.発症後の**有効な治療法はありません**。また、**発症した犬は治療すらしてもらうことができません**。発症すれば**致死率はほぼ100%**です。

結果私たちは、自分そして家族の一員であるペットたちを守るために何ができるのか？

それにはまず、いつ入ってくるかわからない狂犬病に備えること。

つまり**年1回の狂犬病ワクチンを接種**すること。

そして海外渡航の際はむやみに動物に近づかないこと、

もし噛まれてしまったらすぐにワクチンを接種(暴露後ワクチン接種)することで発症を抑えることができます。

ワンちゃんがワクチンを接種できないような病気等がある場合は、獣医師にご相談ください。



## 猫コラム 猫は魔物か？猫奴隷に至るまで

猫は魔物。中世ヨーロッパでは猫は魔女の使いとして恐れられていたとかいないとか…。実際、猫は魔物。その魅力に取り憑かれたら最後、自らすすんで猫の奴隷となってしまうのです。世の中の猫屋敷（多頭飼育崩壊）なるものは猫に魅入られた人間たちの哀れな末路でしょうか。猫に乞われるままに良かれと思ってしたことが逆に悲劇を招くのかもかもしれません。

そう、猫は魔物。何を隠そう私もすでに猫の奴隷です。部屋の中には2匹の飼い猫がいるというのに、庭には野良猫が住み着き、年々我が家の庭を出入りする猫が増えて行く始末。わずかに残った理性、不妊手術ができる職業（一応、獣医）、山奥だから土地は無駄に広いという環境を駆使して崩壊には至らず踏みとどまっていますが…（たぶん）。

そんな我が家を出入りする猫の中に黒ちゃんという雄猫がいます。現れた当初はまだ少しあどけなさが残り、真っ赤なりボンをつけていたので誰かが可愛がっていたのだと思います。これ以上猫が増えては困る、と母に至っては石を投げて追い払っていましたが、懲りもせず時々我が家の納屋で休んでいました。ところが体つきが筋骨隆々とする頃になると、首のリボンが無くなり、なんとなく雰囲気やさぐれて？喧嘩の生傷が絶えないようになりました。多分、オス猫として誰にも縛られない自分の猫生？を歩き出したのでしょう。我が家含むいろいろなお宅で餌はもらったり、くすねたりしているようでしたから、野良と飼い猫の間の半野良（地域猫）というやつになったようです。

そんな黒ちゃんがある日、我が家の庭で倒れたのです。我が家に長く滞在することはあまりなかったのですが、だるさで動けなかったのか、はたまた獣医がいると知ってか知らずか、倒れる数日ほど前から姿を見せていました。母は「何もこの家で倒れなくてもいいじゃない…」なんて言っていました…ごもつとも。たかが猫、されど一度関われば他人事ではられません。一つの命と向き合うのは覚悟がいるのです。しかも相手は魔物です。心を奪われればこちらの人生を捧げる？結果になるやもしれません。しかし、そんな母を横目に、私と父は埃だらけの納屋の天井裏に横たわる黒ちゃんを引っ張り出し、病院へ連れていくことにしました。当然、治療にはお金がかかります。が、黒ちゃんが元気になるならプライスレスです。（多分もう取り憑かれていたのでしょう。）

黒ちゃんは病院への車移動も、検査も、治療もなんなく受け入れました。猫生経験豊富？なのか、長い？猫生？の中ではいろんなことがあるんだと知っているかのようでした。点滴の管が手にひっついていても、背中に注射をされるのも平気でした。そして半野良の性なのか餌だけはガツガツと食べていました。治るもの、治らないもの、色々抱えていることがわかりましたが少しずつ回復すると外を見つめ、もう帰ってもいいかい？と言っているようでした。外に戻したらのたれ死んでしまうかもという不安。でも、彼には半野良の自由が似合う気がしてまた我が家の庭に放ちました。

そして、その頃には黒ちゃんはすっかり特別な猫になってしまったのです。他の猫たち同様、専用の餌とお水ボールが準備され、いつ帰ってきてもいいように、いやむしろずっといればいいのに、と願われる存在になってしまったのです。（私たちの奴隷化、決定です。）石を投げられる日々から一転、毎日餌を準備してもらえる環境を手に入れたのです。猫の魔力、恐るべし。気付いた時には彼の医療費を支払い、今や餌のみならずマダニの駆虫薬まで買ってやるほど。しかし、黒ちゃんのためならやはりプライスレス…。…やはり、猫は魔物です。心を奪われすぎないように、関わる時は十分ご注意を！

# 今月のお知らせ

2020年7月1日より

## レジ袋有料化

となります

全国でプラスチックレジ袋の有料化に伴い、

当院ではレジ袋を一律 **1枚3円**で販売すること致しました。

当院では環境保全活動の一環として無償で**エコバック**をお渡ししております。

数に限りがございますので、ご希望の方は受付までお早めにお申しつけください。

※さくらエコポイントは **2020年12月31日迄**貯めることが出来、  
ご利用いただけます。

期限を過ぎてしまうと使えなくなってしまうので、ご利用はお早めに

## お盆休みのお知らせ

今年度のお盆休みは

**8月13日(木)～15日(土)**

となります。

※薬やフードはお早めにご注文下さい

SAKURA ANIMAL CLINIC  
**さくら動物病院**

長野どうぶつ眼科センター(併設)

休診：火曜日／第四日曜日／木・日・祝祭日の午後

ホームページがリニューアルしました！  
詳しくはこちら



休診日・午後休診は  
当院のホームページまたは  
お電話にてご確認ください。